

JIS

屈折補正用眼鏡レンズの透過率の仕様 及び試験方法

JIS T 7333 : 2018
(ISO 8980-3 : 2013)
(JMOIA/JSA)

平成 30 年 10 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 医療機器技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
(委員)	青 木 春 美	日本歯科大学
	池 田 潔	公益財団法人医療機器センター
	植 松 美 幸	国立医薬品食品衛生研究所
	岡 田 浩 一	日本歯科材料工業協同組合
	奥 野 欣 伸	一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会
	小 室 久 明	一般社団法人電子情報技術産業協会
	早乙女 滋	一般社団法人日本画像医療システム工業会
	佐久間 一 郎	東京大学
	瀬 戸 則 夫	日本歯科器械工業協同組合
	尾 頭 希代子	昭和大学
	松 岡 厚 子	国立医薬品食品衛生研究所

主 務 大 臣：厚生労働大臣 制定：平成 17.3.25 改正：平成 30.10.1

官 報 公 示：平成 30.10.3

原 案 作 成 者：日本医用光学機器工業会

(〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-1-11 繊維会館 TEL 03-6225-5474)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：医療機器技術専門委員会 (委員長 村垣 善浩)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、厚生労働省医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号	4
5 分類	4
6 要求事項	4
6.1 一般的事項	4
6.2 一般的透過率要求事項	4
6.3 路上の使用又は運転目的の眼鏡レンズの分光透過率に関する要求事項	5
6.4 特殊な種類の眼鏡レンズの透過率に関する追加の要求事項	6
6.5 耐放射性	7
7 試験方法	7
7.1 一般	7
7.2 分光透過率	7
7.3 視感透過率及び相対視感度減衰率	7
7.4 紫外線透過率	8
7.5 フォトクロミックレンズの透過率特性及び試料	8
7.6 偏光レンズの試験方法	10
7.7 耐放射性の試験方法	11
8 識別	12
附属書 A (規定) 白熱信号光の相対視感度減衰率を計算するための分光データ	13
附属書 B (規定) 太陽紫外線透過率の計算	17
附属書 C (規定) UV フィルタリングのためのカットオンフィルタ	19
附属書 D (参考) LED 信号光の相対視感度減衰率を計算するための分光データ	22
附属書 E (参考) スペクトル放射のリスク	24
附属書 F (参考) 視感透過率 τ_V の計算例	25
附属書 G (参考) 参考文献	27
解 説	28

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本医用光学機器工業会（JMOIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS T 7333:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

屈折補正用眼鏡レンズの透過率の仕様及び試験方法

Ophthalmic optics—Uncut finished spectacle lenses— Transmittance specifications and test methods

序文

この規格は、2013年に第3版として発行されたISO 8980-3を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、アンカットフィニッシュ眼鏡レンズ及び枠入れされた一对のレンズの太陽放射減衰を含む透過率特性に関する要求事項について規定する。この規格は、次の製品には適用しない。

- 医療目的に処方された特定の透過率又は吸収率の特性をもつ眼鏡レンズ
- 特定の個人保護装置の透過率規格が適用される製品
- 日食などの太陽を直接観察するための製品

注記 1 アンカットフィニッシュ眼鏡レンズの光学的及び幾何学的な要求事項は、JIS T 7313, JIS T 7314 及び JIS T 7315 で規定し、枠入れされたレンズについては、ISO 21987 で規定している。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 8980-3:2013, Ophthalmic optics—Uncut finished spectacle lenses—Part 3: Transmittance specifications and test methods (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS T 7330 眼鏡レンズの用語

注記 対応国際規格：ISO 13666, Ophthalmic optics—Spectacle lenses—Vocabulary

JIS T 7331 屈折補正用眼鏡レンズの基本的要求事項

注記 対応国際規格：ISO 14889, Ophthalmic optics—Spectacle lenses—Fundamental requirements for uncut finished lenses

JIS Z 8781-1 測色—第1部：CIE 測色標準観測者の等色関数

注記 対応国際規格：ISO 11664-1, Colorimetry—Part 1: CIE standard colorimetric observers

JIS Z 8781-2 測色—第2部：CIE 測色用標準イルミナント